

基本方針策定の背景

「大鳴門橋自転車道の開通」

- ・鳴門公園へのサイクリスト、観光客の増加予想
- ・観光地として魅力をPRできる絶好の機会

年間約65～75万人
うちサイクリスト約9万人

国内外から選ばれる、鳴門公園及び周辺地域の
「受入環境整備」「魅力向上」を推進し、
自転車道開通の効果の最大化を図る

対象となる利用者類型

	手段	移動距離
サイクリスト (自転車)	持込自転車 ロードバイク・クロスバイク	50km～100km
ポタリスト (自転車、観光)	レンタサイクル Eバイク、クロスバイク	10km～30km
一般観光客	レンタサイクル（ミニベロ、キッズバイク等）、徒歩	5km以内

施策の目標：安全で地域の魅力を満喫できるサイクルツーリズムの実施

主な取組

受入
環境
整備

鳴門公園

- 公園内の環境整備
 - ・案内看板の設置、路面整備
 - ・歩行・走行ルールの実用
 - ・周遊を促す施設（モニュメント等）の設置
- レンタサイクルの実施
- 駐車場・駐輪場の整備
- ユニバーサルデザインによる施設整備
 - ・千畳敷未舗装部分の舗装
 - ・段差や階段等の改善
 - ・休憩施設、トイレの改善

大鳴門橋架橋記念館「EDDY」

- サイクルステーションの機能強化
 - ・レンタサイクルの実施
 - ・更衣室、荷物預かり等に必要スペースの確保
- 憩いスペースの整備
 - ※発災時の一時避難として使用できるように
- 既存展示の見直し
(効果的な展示内容・手法の検討)

周辺地域

- 周遊ルートの整備
 - ・案内看板の設置、路面整備
 - ・デジタルマップ等によるサイクリングルートの情報発信
- サイクルスポットの拡充
- 休憩等施設のサイクリスト受入環境整備
- レンタサイクルの実施
- 駐車場・駐輪場の確保
- 淡路側とのアクセス向上
(バス、海上輸送)

魅力
向上

- EDDYを核とした観光案内機能の強化
- 自転車道から来訪された方への歓迎看板等の設置
- リピーターを増やすためのイベントの実施
- 淡路側とのコラボによるマスコットキャラの作成やプロモーション
- 教育旅行、団体旅行向けの情報発信
- 外部人材の活用によるブランド力の向上

- サイクリスト・観光客の目線による情報発信の強化
- ユニバーサルデザインによる施設整備
(多言語対応、授乳室等)
- 屋上展望の景観を活用したモニュメントの設置

- 周遊イベントの実施（スタンプラリー、フォトラリー）
- 新たな周遊コースの設定
- 広域サイクリングとの連携
(アワイチ、四国一周 等)